

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちわ。今年のか
かわら版も最終回。今月は日本
への仏教伝来です。

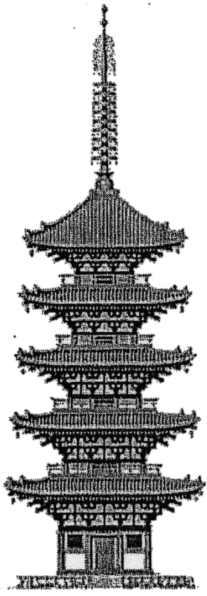
★ 聖明王と欽明天皇

わが国最古の歴史書である日
本書記。その記述によれば、日
本に仏教を正式に伝えたのは百
済の聖明王です。

五三八年、聖明王が欽明天皇
に国使を派遣し、仏像や経典を
贈りました。

当時の朝鮮半島は高句麗、百
済、新羅の古代三国時代。南部
には倭国(日本)の影響下にあ
った任那(みまな)もありまし
た。

百済は高句麗、新羅への対抗上、
倭国との関係強化を図り、当時
の最新文化であった仏教を日本
に伝えました。
朝鮮半島からの渡来人は多く、

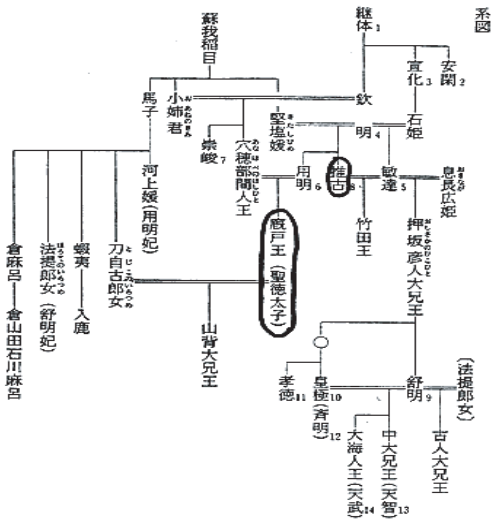


既に仏教は知られ始めていまし
たが、国家間で正式に伝わった
という意味で**仏教公伝(こうで
ん)**と言われます。
なお、公伝は**五五二年**説もあ
りますが、通説は**五三八年**です。

★ 崇仏派と排仏派

贈られた仏像は**蕃神(あだし
くにかみ)**、**大唐神**、**他国神**、
仏神と呼ばれました。当時の国
神は**八百万神(やおよろずのか
み)**。つまり、仏像は大陸から
伝わった外国の神様です。

欽明天皇を支える二大重臣は
大臣(おおのみ)の**蘇我稻目(そ
すめ**



がのいなめ)と**大連(おおむら
しじ)**の**物部尾輿(もののおおこ
し)**。
国神祭祀を司る天皇が他国神
を拜むわけにいかず、仏像と経
典は蘇我稻目に下賜されました。
ここに仏教に寛容な**崇仏派**蘇
我氏と、否定的な**排仏派**物部氏
の対立がスタート。背景には、二
大重臣による勢力争いが影響し
ていたようです。

★ 聖徳太子の十七カ条憲法

欽明天皇の後は、**敏達天皇**、
用明天皇と続きます。

五七二年、用明天皇の第二子
として誕生したのが**厩戸皇子
(うまやどのおうじ)**。のちの
聖徳太子です。

五八七年、用明天皇は病を患
い、治病を祈願して**三宝帰依(さん
ぼうきえ)**。つまり、仏様に
帰依しました。

用明天皇が亡くなると、崇仏
派**蘇我馬子**と排仏派**物部守屋**が
次期天皇を巡って対立。太子は
馬子について戦い、**五八八年**、叔
父である**崇峻天皇**を擁立。

ところが、崇峻天皇はわずか
四年で馬子によって暗殺され、
五九三年、今度は太子の伯母で
ある**推古天皇**が即位。太子は**摂
政**に任命されます。

乱世に翻弄された太子は、仏
教に基づいた秩序ある治世を目

指し、**六〇四年**、**十七カ条憲法**
を制定しました。

★ 世間虚仮、唯仏是真

この間、仏教は徐々に浸透。
五八八年、百済から仏舎利とと
もに大勢の仏教スタッフ(僧、仏
師、寺大工等)が来朝。倭国初
の出家者である**善信尼**が百済か
ら帰朝(**五九〇年**)、**四天王寺**
完成(**五九三年**)、太子の師と
なる百済僧の**慧慈(えじ)**来朝
(**五九五年**)、**飛鳥寺(法興寺)**
完成(**五九六年**)と続きます。

六二二年二月二十一日、太子
は**四十九歳**で亡くなりました。
遺言は「**世間虚仮(せけんこけ)**、
唯仏是真(ゆいぶつぜん)」。
曰く「現世は虚飾であり、空
しく、ただ仏の道だけが真実で
ある」。

その後、**大化改新(六四五
年)**を経て、太子の思い描いた
国家づくりが始まり、仏教も新
たな段階に進みます。

来年は、聖徳太子の生涯を通
して、日本仏教のルーツを探り
ます。題して、**聖徳太子の生涯
と日本仏教**。乞ご期待。それで
は、良い年をお迎えください。

★ 聖徳太子の生涯と日本仏教

来年は、聖徳太子の生涯を通
して、日本仏教のルーツを探り
ます。題して、**聖徳太子の生涯
と日本仏教**。乞ご期待。それで
は、良い年をお迎えください。

